



報道機関 各位

記者発表資料

平成30年11月8日(木)

問い合わせ先：農業政策課

課長：川田

担当：村田

電話：829-1378

内線：4841

～さいたま市発祥さつまいも～ 紅赤発祥120周年記念イベントを実施します

今から120年前にさいたま市で発見されたさつまいも「紅赤」が、今年発祥120周年を迎えることを記念して、シンポジウム、マルシェを行います。

1 紅赤とは

明治31年(1898年)、木崎村(現在のさいたま市浦和区)で、畳屋を営む兼業農家の主婦、山田いちさんが、「きれいな色で美味しいさつまいもがある」と発見したさつまいもです。その後、いちさんの甥である吉岡三喜蔵さんが種芋で栽培を始め、「紅赤」と名付け、全国に広めました。大正から昭和までは、埼玉県のさつまいもの栽培面積のうち、9割が紅赤だったと言われていたのですが、その後紅赤の栽培は減少し、「幻のさつまいも」と呼ばれるようになりました。

さいたま市では、平成21年に9名の生産者からなるさいたま市紅赤研究会を立ち上げ、紅赤の復活に取り組み始めました。現在では会員は14名に増え、復活に向けて栽培に取り組んでいます。

2 イベント概要

・紅赤発祥120周年記念シンポジウム

平成30年11月26日(月) 13時～15時30分

浦和コミュニティセンター多目的ホール

講演会「さいたま市で生まれた紅赤とさつまいもの魅力について」

講師 さつまいも親善協会会長 鈴木 絢子氏

パネルディスカッション「さいたま市と紅赤のこれから」

パネリスト 浦和郷土文化会 理事 野中 味恵子氏

さいたま市紅赤研究会 松沢 英夫氏

さいたま市経済局農業政策部長 永井 正

コーディネーター 川越いも友の会 事務局長 山田 英次氏



・紅赤マルシェ

平成30年11月26日(月) 10時～16時

浦和駅東口駅前市民広場

紅赤を使ったパン、和菓子、洋菓子、焼き芋、クラフトビール等10店が出店するマルシェ